

令和2年度 国本中央小学校 学校評価書

1 教育目標（目指す児童像含む）

「人間尊重の教育」を基盤とし、豊かな人間性を持ち、意欲をもって主体的に生きていくことができる心身ともに健康でたくましい児童の育成

- ☆ 心豊かで思いやりのある子ども（やさしく）
- ☆ 自ら学ぶ子ども（かしこく）
- ☆ 明るく元気な子ども（たくましく）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

学校教育目標達成のため、全職員が自らの使命を自覚し、「人間尊重の教育」を基盤とした誰もが安心して学べる活力ある学校づくりを推進する。

学校教育目標達成のためには、教職員が学校経営の方針を理解し、自らの使命を自覚して、児童のよりよい成長のために日々の教育活動にあたることが重要である。その過程において、保護者・地域住民と適切に連携していくことにより、教育の目的である、児童の望ましい人格が形成されていく。したがって、本校は、教職員の資質の向上により、児童が安心して生き生きと学ぶことができる活力ある学校づくりを推進し、上記の具体目標の達成を目指す。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

（１）基礎・基本の確実な習得とそれらを活用する力の育成による学力の向上（かしこく）

- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
- ・学びに向かう力等と協働して課題を解決していく力の育成
- ・教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成を目指した授業の実現
- ・まとめの学習の充実と家庭と連携した家庭学習の習慣化
- ・学力調査の結果を生かしたPDCAサイクルの構築による共通実践
- ・宮・未来キャリア教育の充実

（２）心の教育の充実による自己有用感の育成（やさしく）

- ・宮っ子心の教育を核とした人権尊重の教育の推進
- ・物事の多面性を理解し、自己を深く見つめる道徳教育の推進
- ・児童の自信と自己有用感を高めるための認め励ます学級経営
- ・「市及び学校いじめ防止基本方針」を基にしたいじめを生まない指導の充実
- ・不登校を生まない支援の充実

（３）体力の向上と健康・安全意識の高揚（たくましく）

- ・体力向上のための多様な運動に取り組む運動機会の確保と方法の工夫
- ・健康・安全な生活のための能力の育成
- ・家庭と連携した望ましい食習慣の育成
- ・学校教育全体を通じた危険予測と危険回避能力の育成

（４）教職員の資質向上を目指す取り組み

- ・PDCAサイクルによる教育活動の評価と改善
- ・信頼される教職員を目指した各種研修の充実
- ・教職員評価を生かした個人研修の充実

（５）地域とともにある学校づくりの推進

- ・学校と地域が情報を共有し、児童の健全育成を図る連携を強化
- ・地域教育資源（人・物・場所）を効果的に活用した体験活動による郷土愛の涵養

（６）教員の働き方改革の推進

- ・教員の業務内容の見直しと勤務時間の適正化
- ・教職員の健康安全管理の徹底

[国本地域学校園教育ビジョン]

「自ら学び 心豊かで 元気な国本っ子」 ～地域とともにある学校をめざして～

4 教育課程編成の方針

- (1) 保護者や地域に信頼される学校教育の展開
- (2) 確かな学力と健康・体力を育む教育の充実
- (3) 本校の特色ある活動を生かした豊かな心と社会性を育む教育の推進

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学校運営】

- 豊かな環境と地域教育力を活用した誰もが安心して学べる活力ある学校づくりの推進
 - ・安全な学校づくり
 - ・児童が安心して楽しく過ごせる学校づくり
 - ・学力の向上を目指す学校づくり

【学習指導】

- 自他を大切にし、共に学ぶ児童の育成

【児童・生徒指導】

- 学業指導の徹底による学びに向かう集団の育成
 - ・すべての児童にとって居がいのある温かい雰囲気での学級経営の実践

【健康（保健安全・食育）・体力】

- 自分の体に関心を持ち、進んで健康・体力の向上に努める児童の育成
 - ・教科体育・保健指導の充実と運動の日常化

【教職員の業務内容・勤務時間の適正化】

- ・重点目標の焦点化による、業務内容の精選・統合
- ・会議・研修内容の見直しと業務の効率化による勤務時間の適正化

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取り組みにかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取り組み」の方向性には、A 拡充 B 継続 C 縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取り組み	方向性	評価
目指す児童の姿	A1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、授業中、話をしっかりと聞いたり、発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる。」 ⇒児童の肯定的回答 85%以上	① 聞き方の指導を重点的にを行い、自分や友達の考えを比べながら聞けるようにする。 ② 「まず」「次に」「なぜなら…だからです」などの伝わりやすい話し方の型を提示したり観点を明確にしたりすることで、言語活動の充実を図る。 ③ 学習のめあてを明確にし、児童が見通しをもって学習に取り組めるようにする。	B	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は95%であり、目標を上回った。 【次年度の方針】 ① 聞き方の指導では、自分の考えをもつ時間を確保したうえで、自分や友達の考えを比べながら聞けるようにする。 ② 「まず」「次に」「なぜなら…だからです」などの伝わりやすい話し方の型を提示したり、話すことの観点を明確に示したりすることで、言語活動の充実を図る。 ③ 学習のめあてを児童に分かる簡潔な言葉で示し、見通しをもって学習に取り組めるようにする。
	A2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 人権(学年に応じた内容)に関する知識・技能・態度などを身に付けられるよう全職員で研究を行い、思いやりやルールを守る心を育てる。 ② 道徳のワークシート等に保護者のコメント欄を設けるなどし、学校の取り組みの発信を行う。 ③ 緑化活動を引き続き充実させる。スタンダードダイアリーの「心を育てる50の言葉」を授業や帰りの会で活用し、先人の生き方等に触れ、生き方を振り返る手立てとする。	A	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は91%であり、目標を上回った。 【次年度の方針】 ① 人権(学年に応じた内容)に関する知識・技能・態度などを身に付けられるよう全職員で研究を行い、思いやりやルールを守る心を育てる。 ② キャリアパスポート等に保護者のコメント欄を設けるなどし、学校の取り組みの発信を行う。 ③ 緑化活動を引き続き充実させる。スタンダードダイアリーの「心を育てる50の言葉」を授業や帰りの会で活用し、先人の生き方等に触れ、生き方を振り返る手立てとする。

A3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。」 ⇒教職員・児童の肯定的回答 85%以上	①「学習のきまり」、「生活のきまり」、「月別の重点目標」を基に週的生活目標を設定し、基本的生活習慣や学習習慣の定着を図る。 ② 時間を守って行動できるよう、校庭での声掛けを実施する。 ③ 水道の使い方、廊下の歩き方について、生活当番の巡視の際など、全職員で重点的に指導する。	【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は92%、児童の肯定的回答は90%で、共に目標を上回った。 【次年度の方針】 ①「学習のきまり」、「生活のきまり」、「月別の重点目標」を基に生活目標を設定し、保護者に通知・啓発しながら基本的生活習慣や学習習慣の定着を図る。 ② 時間を守って行動できるよう、校庭での声掛けを実施する。 ③ 水道の使い方、廊下の歩き方について、生活当番の巡視の際など、全職員で重点的に指導する。
A4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、時と場に応じたあいさつをしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	① 率先してあいさつができるように、児童会を中心としたあいさつ運動を継続して行い規範意識を高める。家庭・地域への啓発も意図的に行う。 ② 長期休業中にあいさつ実践カードを配付し、家庭への啓発を図る。	【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は92%であり、目標を上回った。 【次年度の方針】 ① 率先してあいさつができるように、児童会を中心としたあいさつ運動を継続して行い、規範意識を高める。家庭・地域への啓発も意図的に行う。 ② 毎月第1週目を「あいさつ強化週間」とし、重点指導を行う時期を設ける。
A5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「私は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 学期始めの目標の設定の際には、児童の言葉で、具体的な目標を立てるように支援する。また、学期途中や学期末での振り返りを必ず行い、次の学期や学年につなげるように支援する。 ② 帰りの会や学級活動、道徳の時間等で頑張っている児童を認め、称賛する。	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は91%であり、目標を上回った。 【次年度の方針】 ① 引き続き、児童が、学期始めの目標設定や学期末の振り返りに自分事として取り組み、有意義な活動になるように支援を工夫する。 ② 様々な時間で、児童の良さを認める活動を継続し、掲示物や具体物に表現していくなどの支援をすることで、児童の活動意欲を高めていく。
A6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、健康や安全に気を付けて生活している。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 歯磨き指導を充実させ、歯磨きの定着を図る。 ② 長期休業中に、歯磨きカレンダーを配付し、家庭に対して歯磨きの啓発を図る。 ③ 病気の予防のため、うがい・手洗いの励行をする。 ④ 健康診断の結果を配付し、早期治療を勧める。	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は95%であり、目標を上回った。 【次年度の方針】 ① 引き続き、歯磨き指導の徹底、うがいや手洗いの励行を行う。 ② 健康診断の結果を配付して、保護者へ早期治療を促す。
A7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。 【数値指標】 全体アンケート「私は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒児童の肯定的回答 85%以上	① 様々な職業にふれる、本や映像などの資料を使う、直接体験するなどの活動を通して、児童のキャリア教育的視野を広げる。 ② 児童が自分の良さや特徴を知ることができるよう、キャリアパスポートを活用し、学級活動内容を充実させる。 ③ みどり活動と連携し、地域に花を届ける活動を充実させる。	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は91%であり、目標を上回った。 【次年度の方針】 ① 引き続き、様々な職業にふれる、本や映像などの資料を使う、直接体験するなどの活動を通して、児童のキャリア教育に対する視野を広げる。 ② 児童が自分の良さや特徴を知り、夢や目標の実現に向けて自身の課題を明確にできるよう、キャリアパスポートを活用し、学級活動の内容を充実させる。 ③ みどり活動と連携し、地域に花を届ける活動を行うことで、児童の社会参画への気持ちを高めていく。

A 8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、外国語活動の授業やALTとの交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 外国語科および外国語活動の時間では、ALTと協力して児童に興味をもたせながら授業を進め、児童の様子に合った声掛けをする。 ② 英語の本の読み聞かせを聞いたり、普段の生活の中で英語を使ってやり取りしたりする場を意図的に設け、英語に慣れ親しむことができるようにする。	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は91%であり、目標を上回った。 【次年度の方針】 ① 外国語科および外国語活動の時間では、ALTと協力して児童に興味をもたせながら授業を進め、児童の様子に合った声掛けをする。 ② 英語の本の読み聞かせを聞いたり、普段の生活の中で英語を使ってやり取りしたりする場を意図的に設け、英語に慣れ親しむことができるようにする。
A 9 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、宇都宮市のよさを知っている。」 ⇒教職員・児童の肯定的回答 80%以上	① 国本地区や宇都宮市の良さに関連する学習内容を教科・領域、行事等で積極的に扱う。その際、事前・事後の指導を充実させ、地域や市の良さを理解できるようにする。 ② 国本地区の良さを伝える写真資料を、計画的に視聴できるようにすることや、引き続きお昼の校内放送で、地区で採れたモチ米等の食材を披露するなどして、地域の人との関わりを意図的に知らせることで、地域の良さに気付かせ、愛着をもてるようにする。 ③ 授業参観等で、地域や宇都宮市について学習している様子を公開して、宇都宮市のよさを保護者と共有できるようにする。	【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は88%、児童の肯定的回答は88%で、共に目標を上回った。 【次年度の方針】 ① 学校行事や地域の行事、また、国本地区や宇都宮市の良さに関連する学習内容を積極的に扱う。その際、事前・事後の指導を充実させ、地域や市の良さを確認できるようにする。 ② お昼の校内放送で、宇都宮市の歴史や良さ、魅力について放送していく。また、地元でとれた食材を紹介し、地域との関わりや地域の良さに気付かせる。 ③ 講師の先生をお招きし、宇都宮市の良さや魅力についてお話をいただく。また、機会があれば授業参観等で地域や宇都宮市について学習している様子を公開して、宇都宮市のよさを保護者と共有できるようにする。
A 10 児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 全体アンケート「児童はパソコンや図書等を学習に活用している。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 図書館利用年間計画・ICT機器の活用計画をもとに見通しをもってそれらを活用する。 ② 児童がパソコンや図書等を学習に活用している様子を授業参観やたより等で取り上げたり、情報モラル家庭通信を発行したりして、学校での取り組みの様子を保護者へ発信する。	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は90%であり、目標を上回った。 【次年度の方針】 ① 図書館利用年間計画・ICT機器の活用計画をもとに見通しをもってそれらを活用する。 ② 児童がパソコンや図書等を学習に活用している様子を授業参観やたより等で取り上げたり授業で作成したものを掲示したりして、学校での取り組みの様子を保護者へ発信する。
A 11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は誰に対しても思いやりの心をもって優しく接している。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 道徳の授業では、「親切・思いやり」に関する指導を重点指導項目として設定し、児童に教材を通して考えを深めさせることで思いやりの心を育む。 ② 総合的な学習の時間に、高齢者体験等を行い、高齢者に対する理解を深める。	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は91%であり、目標を上回った。 【次年度の方針】 ① 道徳の授業では、引き続き「親切、思いやり」に関する内容を重点指導項目として実践していく。 ② 心ばかばか運動で他者のよさを見つけ、互いに認め合うことのできる児童の育成を図っていく。
A 12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。」 ⇒教職員・児童の肯定的回答 80%以上	① みどり活動や稲作活動等、「持続可能な社会」と関連のある活動を行う際は、それらの関連について児童に指導する時間を設ける。 ② 活動の事後指導の場を設定し、児童自身が活動の意義を考えられるようにする。 ③ 実施計画内に事前・事後指導の要点を示し、全職員で統一した指導を行えるようにする。	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は88%だったが、教職員の肯定的回答は63%で、目標を下回った。 【次年度の方針】 ① みどり活動や稲作活動等、「持続可能な社会」と関連のある活動を行う際は、それらの関連について児童に指導する時間を設ける。 ② 活動の事後指導の場を設定し、児童自身が活動の意義を考えられるようにする。 ③ 実施計画内に事前・事後指導の要点を示し、全職員で統一した指導を行えるようにする。

	B1 児童は、家庭学習に進んで取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「家庭学習に進んで取り組んでいる」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 時期に合わせて家庭学習通信を発行し、家庭学習の意義をより理解できるように示し、さらに懇談会等で保護者の理解と協力を得る。 ② 家庭学習の大切さを「家庭学習のすすめ」を読み上げながら児童に伝え、家庭学習への意欲を高める。 ③ 「家庭学習振り返りカード」を活用して、家庭学習の意識化を図り、進んで家庭学習に取り組もうとする意欲をもてるようにする。	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は88%であり、目標を上回った。 【次年度の方針】 ① 家庭学習通信を発行し、家庭学習の意義を理解できるように示し、さらに学級の懇談会や個人懇談等で保護者の理解と協力をより得られるようにする。 ② 年度始めに、家庭学習の大切さを「家庭学習のすすめ」を読み上げながら児童に伝えたり、常時、家庭学習への意欲を高めるための声掛けをしたりする。 ③ 「家庭学習振り返りカード」を活用して、家庭学習の意識化を図り、家庭学習に取り組もうとする意欲を持続できるようにする。
目 指 す 学 校 の 姿	A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケート「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	① 特別な支援を必要とする児童の実態を把握し、関係する教職員や保護者と情報共有をして支援の方向性を示す。 ② 児童に応じた指導方法の工夫を行い、特別な支援を必要とする児童にとっても、分かりやすい授業の展開をする。 ③ 必要に応じて校内支援委員会を開き、個別の支援計画を作成してかがやきルームやSC、センター、保護者との連携を図っていく。	【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は96%であり、目標を上回った。 【次年度の方針】 ① 特別な支援を必要とする児童の実態を把握し、関係する教職員や保護者と情報共有をして支援の方向性を示す。 ② 児童に応じた指導方法や支援の工夫を行い、特別な支援を必要とする児童の実態に応じた、分かりやすい授業の展開をする。 ③ 必要に応じて校内支援委員会を開き、個別の支援計画を作成して、かがやきルーム担当、SC、市教育センターの担当者、保護者との連携を図っていく。
	A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 全体アンケート「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」 ⇒児童の肯定的回答 85%以上	① 定期的なアンケート調査や教育相談により、子供の実態把握と、いじめ防止・早期発見に努め、適切な対応をする。 ② 学校だより・学年だより等でアンケート調査や教育相談などの学校での取り組みを保護者に知らせる。 ③ 道徳の授業公開をする際、いじめ防止を扱った内容を行い、保護者へのいじめ防止活動の周知を強化する。	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は99%であり、目標を上回った。 【次年度の方針】 ① 定期的なアンケート調査や教育相談により、児童の実態把握と、いじめ防止・早期発見に努め、適切な対応をする。 ② 学校だより・学年だより等でアンケート調査や教育相談などの学校での取り組みを保護者に知らせる。 ③ 道徳の授業公開をする際、いじめ防止を扱った内容を行い、保護者へのいじめ防止活動の周知を強化する。
	A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 全体アンケート「教職員は、不登校を生まないよう、一人一人への児童を大切に、児童がともに認め励まし合う学級経営を行っている。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 90%以上	① 児童や保護者に積極的にかかわり、普段からの信頼関係づくりに努める。 ② 養護教諭、SC、市のセンターと積極的に連携を図り、アドバイスをもらいながら指導に活かしていく。欠席状況調査票も活用し、月5日以上欠席累計だけでなく、トータル欠席累計の状況や遅刻・早退の動きなどを分析し、潜在的な不登校児の早期発見と対応に努める。	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は98%、教職員の肯定的回答は96%で、共に目標を上回った。 【次年度の方針】 ① 児童や保護者に積極的に関わり、普段からの信頼関係づくりに努める。 ② 養護教諭、SC、市教育センターの担当者と積極的に連携を図り、アドバイスをもらいながら指導に活かしていく。欠席状況調査票も活用し、月5日以上欠席累計だけでなく、トータル欠席累計の状況や遅刻・早退の動きなどを分析し、潜在的な不登校児の早期発見と対応に努める。

A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケート「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	① 教職員が異文化への広い知識と理解を率先して身に付け、児童が世界の誰とでも仲良くなれるような国際感覚を養う。 ② 道徳やその他の授業を通して、人権感覚や国際感覚を育てる。 ③ 教職員の校内語学研修を行い英語力向上を励むとともに、関係機関と提携し、児童の実態に応じて日本語指導の時間を設ける。	【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は96%であり、目標を上回った。 【次年度の方針】 ① 教職員が異文化への広い知識を率先して身に付け、児童が世界の誰とでも仲良くなれるような国際感覚を養う。 ② 道徳やその他の授業を通して、人権感覚や国際感覚を養う。 ③ 教職員の校内語学研修を行い、英語力向上に励むとともに、関係機関と提携し、児童の実態に応じて日本語指導の時間を設ける。
A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 全体アンケート「私は、今の学校が好きです。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 児童がより主体的に関わることができるよう学校行事の改善を図り、生活科や総合的な学習の時間では、地域の特色を生かした教育活動の充実をめざす。 ② 人権コーナーや心ぽかぽか運動等の充実を図り、人権感覚を養うことで相手を思いやる心を育てる。 ③ 全体での話し合い活動を充実させ、活気ある学校づくりを目指す。	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は92%であり、目標を上回った。 【次年度の方針】 ① 児童がより主体的に関わることができるよう学校行事の充実を図り、生活科や総合的な学習の時間では、地域の特色を生かした教育活動の充実をめざす。 ② 引き続き、人権コーナーや心ぽかぽか運動等の充実を図り、人権感覚を養うことで相手を思いやる心を育てる。 ③ 学校全体でのあいさつ運動の徹底や学級での話し合い活動を充実させて、活気ある学校づくりを目指していく。
A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 全体アンケート「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる。」 ⇒児童の肯定的回答 85%以上	① 毎時間、学習のめあてとまとめを明確に板書し、振り返りもノートに書くように指導すると共に、ICTやタブレット、また学びポケットなどの活用を進める。 ② 児童の実態を把握し、習熟度別学習やT・T（チーム・ティーチング）、かがやきルームでの学習など多様な指導方法を活用し、個に応じた指導の充実を図る。 ③ 各学年の担任が協力して教材研究を進め、分かる授業の実践に努める。	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は98%であり、目標を上回った。 【次年度の方針】 ① 毎時間、学習のめあてとまとめを明確に板書し、振り返りもノートに書くように指導すると共に、ICTや個人用のタブレット、また学びポケットなどの活用を充実させる。 ② 児童の実態を把握し、習熟度別学習やT・T（チーム・ティーチング）、かがやきルームでの学習など多様な指導方法を活用し、個に応じた指導の充実を図る。 ③ 各学年の担任が協力して教材研究を進め、授業形態の工夫をしながら、分かる授業の実践に努める。
A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① 専門スタッフも含めた組織を明確にし、教職員間で業務内容・役割分担等について共有し、連携につなげていけるように時間と場所を十分に確保する。 ② 教職員一人一人の専門性を生かし、「社会に開かれた教育課程」の実現に努める。	【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は96%であり、目標を上回った。 【次年度の方針】 ① 校務分掌を意識して、様々な専門スタッフが相談しやすい環境づくりを意識するとともに、学校目標達成のために職員全体が連携し組織的に業務に取り組む。 ② 学校と地域の連携活動の充実のため、地域連携教員を中心として、学校と地域が協力して行う行事等の充実を図る。
A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① 多様な専門性を有する学校スタッフの業務を校務分掌に組織的・計画的に配置する。 ② 業務内容の可視化を図り、職員間の連携を強化する。 ③ PDCAサイクルによる学校行事の精選校務分掌の見直し等により、業務量の縮減を図る。	【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は96%であり、目標を上回った。 【次年度の方針】 ① 各々が校務分掌を意識し、分掌内で協力して業務に取り組めるようにするとともに、業務の平準化を図る。 ② 定時退庁日を意識して業務の優先順位を決めることを心掛け、自らの業務を効率的に進められるようにする。 ③ 学校行事の振返りなどを基に、学校行事の精選を図り、業務量を縮減する。

A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取り組みを行っている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取り組みを行っている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① 地域学校園全体研修会等の機会を活用し、各部会での情報交換を通して、各校が共通理解のもと目標に向けて連携・協力して指導にあたる。 ② 部会の活動内容、成果や課題について報告会を開催し、地域学校園内の児童生徒の取り組み（あいさつ運動など）や課題について共通理解を図る。	B	【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は100%であり、目標を上回った。 【次年度の方針】 ① 地域学校園全体研修会の機会を活用し、部会ごとの情報交換を通して、各校が連携・協力して指導にあたる。 ② 地域学校園内の児童生徒の課題を共有し、あいさつ運動など共通の具体策を同一歩調で行う。
A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 ⇒教職員、保護者、地域の肯定的回答 80%以上	① 地域の人的・物的資源を含んだ地域の教育力を教育活動へ積極的に取り入れることで、地域を生かした特色ある学校づくりに努める。 ② 学校行事等に地域の方々が関わっていることを児童に日常的に伝えとともに、行事の振り返りの場を設けるなどして児童の達成感や成就感を高める。 ③ ホームページや各種たより等で行事等を積極的に紹介・発信していくことで、本校の特色ある教育活動についての周知を図る。	B	【達成状況】 ・肯定的回答の割合は、教職員100%、保護者85%、地域92%と全ての対象で目標を上回った。 【次年度の方針】 ① 登下校時や行事等の際、地域の方に対する児童のあいさつを啓発し、地域の方と共に児童を育てる学校づくりに努める。 ② 学校行事の振り返りの際に地域の方々が関わっていることを意識させ、地域の方に感謝する気持ちを醸成する。 ③ ホームページや各種たより等で行事等を積極的に紹介・発信して、本校の特色ある教育活動についての周知を図る。
A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 ⇒教職員、保護者、地域の肯定的回答 80%以上	① 家庭・地域・企業等やPTAとの連携をさらに推進し、地域に根差した特色ある学校づくりを目指す。 ② 地域の人的・物的資源を有効に活用し教育活動の充実を図るとともに、より効果的な方法で広く情報を発信していく。	B	【達成状況】 ・肯定的回答の割合は、教職員100%、保護者85%、地域92%と全ての対象で目標を上回った。 【次年度の方針】 ① 地域コーディネーターと連携を深め、地域協議会を充実させるとともに、地域を生かした特色ある学校づくりに努める。 ② 各種ボランティアが参加しやすい環境を整えと共、ボランティアの活動を紹介・発信していく
A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」 ⇒教職員、保護者、地域の肯定的回答 80%以上	① 職員で分担し、月1回校舎内外の安全点検を丁寧に実施する。 ② 異常を発見した場合には、早急に担当者に連絡し、修理等に迅速に対応する。	B	【達成状況】 ・肯定的回答の割合は、教職員100%、保護者92%、地域100%と全ての対象で目標を上回った。 【次年度の方針】 ① 教職員で分担し、月1回校舎内外の安全点検を丁寧に実施する。 ② 異常を発見した場合には、早急に担当者に連絡し、修理等に迅速に対応する。
A25 学校は、学習に必要なICT機器や図書等を整えている。 【数値指標】 全体アンケート「児童はパソコンや図書等を学習に活用している。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 図書館利用年間計画をもとに学習に必要な資料を準備する。 ② 教師の指導力向上のため、授業内で児童がパソコンやICT機器を活用しながら学習できるよう研修を行う。	B	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は90%であり、目標を上回った。 【次年度の方針】 ① 図書館利用年間計画をもとに学習に必要な資料を準備したり、図書の計画的な購入をしたりする。 ② 児童が授業の中でパソコンやICT機器を活用しながら学習できるよう、教員のICT研修を積極的に行っていく。

本校の特色・課題等	B2 学校は、栽培・緑化活動を通して、自然体験や体験的な学習を推進している。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、栽培・緑化活動を行い、自然に親しんでいる」 ⇒地域の肯定的回答 80%以上	①「みどりの少年団」「緑化コンクール」等の活動を通した学校環境緑化活動を引き続き推進する。 ②「ブルーベリー栽培」「稲作体験」等の体験活動を引き続き推進する。	B 【達成状況】 ・地域の肯定的回答は100%であり、目標を上回った。 【次年度の方針】 ①「みどりの少年団」「緑化コンクール」等の活動を通した学校環境緑化活動を引き続き推進し、活動内容を地域協議会等で紹介する。 ②「ブルーベリー栽培」「稲作体験」等の体験活動を引き続き推進する。
-----------	---	---	---

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取り組みにかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・27項目中26項目で数値目標が達成されており、良好な状況である。
- ・「持続可能な社会」に関しては、児童の肯定的回答が88%で数値指標に達したが、教職員の肯定的回答は63%で数値指標に達することができなかった。みどり活動や稲作活動等が、児童にとって今後必要になる能力を育成する時間であることを、教職員が共通理解して指導に取り組む。
- ・27項目中3項目（「きまりやマナーを守った生活：教職員の評価」「時と場に応じたあいさつ：教職員の評価」「持続可能な社会：教職員の評価」）で、昨年度より肯定的回答が5%以上、下がった。
- ・「きまりやマナーを守った生活」に関しては、教職員の肯定的回答が100%から92%に下がった。廊下の歩き方や水道の使い方などを学級担任が責任をもって学年に応じて確認していく。また、時間を守ることの意識づけのため、業間休みや昼休みに校庭での声掛けを行っていくなど、全職員で協力して指導していく。
- ・「時と場に応じたあいさつ」に関しては、教職員の肯定的回答が100%から92%に下がった。これまで行ってきたあいさつ運動を継続していくだけでなく、あいさつ強化週間等を実施することで、学校全体であいさつに対する意識づけやあいさつの大切さを指導していく。
- ・27項目中9項目（「児童は進んで学習に取り組んでいる」「いじめへの指導」等）で、肯定的回答が95%以上だった。
- ・「いじめへの指導」に関しては、児童の肯定的回答が99%だった。今後も、定期的なアンケートや教育相談により早期発見に努めていくとともに、学校全体でいじめ防止に取り組んでいく。
- 「児童は進んで学習に取り組んでいる」に関しては、児童の肯定的回答が95%だった。昨年の肯定的回答の88%と比べ大きく上昇している。学習のめあてやまとめを明確に板書したり、振り返りを書いたりなど学力向上に向けて全職員で取り組んできた成果であると思う。これらの指導を継続するとともに、GIGAスクール構想に伴う新たな学習についてもしっかりと指導に取り組む。

7 学校関係者評価

【学校運営に関すること】

- ・総合的に、どの項目も数値目標が達成されていて、児童、保護者、先生方が安心・安全でより良い学校となるよう取り組んでいることが分かりました。
- ・教育目標に掲げている3つの課題が十分に達成できていると思います。
- ・総合的な評価から判断すると、「1教育目標」をもとに「5今年度の重点目標」が達成されているのだと思います。

【学習指導に関すること】

- ・「児童は宇都宮の良さを知っている」について、次年度の方針にあるよう、積極的に地域の行事の良さを紹介していただき地域の行事に、児童が積極的に参加することを期待します。

【児童・生徒指導に関すること】

- ・全体的に肯定的回答率が高いが、「持続可能な社会」への関心についてのみ教職員の肯定的回答が低かった（63%）ことが気になりました。
- ・「いじめ」については、先生方が児童の意見をしっかりと聞き、的確な対応をされていることが、肯定的回答の高さから分かりました。今後とも、先生方の目で児童の行動を見て、児童の話に耳を傾けていただければ幸いです。
- ・きまりやマナーを守ることについて、肯定的回答が低いのは残念です。きまりやマナーについては、家庭でのマナーとの関連が大きく学校と家庭で育てていくものだと思います。これから社会に出ていく子供たちのために、大人がしっかりと指導していくことが大切だと思います。

【健康・体力に関すること】

- ・子供たちが、安全で健康に過ごせたことが大きいと思います。今後もコロナウイルス感染症が早く収束することを願いながら先生方、子供たち、保護者、地域で緊張感をもって過ごせたらと思います。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取り組みにかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

【学校運営】

- ・コロナ禍の中で、新型コロナウイルス感染症への対応を取りながら、様々な教育活動を展開することができた。今後も学校の実態に合わせ、「社会に開かれた教育課程」の実現に向け取り組んでいく。
- ・教職員一人一人の専門性を生かしつつ、学校目標を達成するために組織的に業務に取り組むことができた。今後、業務の効率化の観点から勤務時間を意識した働き方に向けて工夫・改善していく。

【学習指導】

- ・児童が宇都宮や地域の良さを知るために、「学年だより」「ホームページ」で宇都宮学の取り組みを家庭へ伝えられる工夫をする。
- ・今後も学習のめあてを明確にした授業を実施し、児童が見通しをもって学習に取り組めるようにする。
- ・聞き方の指導、話型の掲示、発表マニュアルの活用、振り返りの実施などを継続し、授業力の向上を目指す。
- ・GIGAスクール構想に伴う新たな学習について、職員の研修を充実させる。
- ・家庭学習について保護者と協力しながら取り組む。理想的な家庭学習ノートを掲示したり学年での質や量の統一をしたりして、児童への啓発を図る。

【児童・生徒指導】

- ・「きまりやマナー」については、今後もその場で指導すること、家庭・地域との連携を図ることを継続する。
- ・いじめ対策については、定期的なアンケートや教育相談により、「いじめ」の早期発見に努めていくとともに、学校と家庭が連携・協力して取り組んでいく。
- ・「あいさつ」については、学校でのあいさつ運動を継続するだけでなく、家庭や地域と連携・協力して登下校時のあいさつを啓発する。
- ・人権意識の向上を図るため、全職員で人権に関する研究を行い、児童に思いやりの心を涵養する。

【健康・体力】

- ・教育相談やキャリアパスポートを通して、児童の夢や目標が具体的に描けるよう支援する。
- ・コロナ感染症拡大防止のため、引き続き、うがい、手洗い、ソーシャルディスタンス、マスクの着用などを励行する。
- ・家庭と協力して、朝食抜きや睡眠不足の児童の生活改善を図る。
- ・虫歯予防や虫歯治療に対して、家庭との連携を図る。
- ・業間や昼休みの外遊びを励行し、体を動かすことの楽しさを感じさせるとともに、体育の授業を中心に体力づくりや健康な体づくりへの関心を高める。